

3ヶ月ばかり入院した8月に復帰第一作大沢豊^{ふつき だいいっさく おおさわゆたか}作品『せんせい』のロケの下見に山本薩夫^{やまもと さつお かんとく}監督と長崎^{ながさき}に行きました。

しかし、まだ包帯^{ほうたい}がとれたばかりで、まだ目がよく見えな
いし、五線紙^{ごせんし}(※77)の線は黒い縞模様^{しまもよう}にしか見え^{がくふ}ず、楽譜もま
ともに書くことができないまま仕事をせざるを得^えませんでした。
た。

昭和58年(1983)、まだ、体調^{すぐ}が優れないまま、五社英雄^{ごしゃひでお かんとく}監督
の『陽暉楼』^{ようきろう}を引き受けることとなります。監督^{かんとく}とは長いつ
きあいで、次は是非一緒にやりたいと言われていました。

※77 ^{ごせんし}五線紙

^{がくふ}五線の引いてある楽譜用紙。

しかし、^{ごしやかんとく}五社監督からその前の『^{きりゆういんはなこ}鬼龍院花子の^{しょうがい}生涯』のオ
ファー(※78)を受けていたのですが、他の仕事が入っていたた
^{ことわ}め断っていました。一度断るともう仕事は廻してもらえな
いのが普通でした。

しかし、^{ごしやかんとく}五社監督もピストルの^{ふほう}不法所持(※79)で捕まった
ため、次の作品に^{さいき}再起をかけていました。^{まさる}勝も、病み上がり
で同じく^{さいき}再起をかけていたものですから、^{しんきいつてん}心機一転(※80)
^{さいしゅつぱつ}再出発しようと引き受けました。

※78 オファー

マーケティングでは、^{はんばいしゃ}販売者が^{こうにゆうしゃ}購入者に^{こうにゆう}購入に関して^{かん}条件を^{じょうけん}を
^{ていあん}提案すること。

※79 不法所持

^{じゅうき}銃器など^{ほうりつ}法律で^{きん}所持が禁じられているものを持っていること。

※80 心機一転

あることをきっかけに、すっかり^よ気持ちや心を良いほうに入れかえ
ること。

『陽暉楼』は花街の物語で、勝も五社監督も同じような

環境で育ったことから、なにか因縁めいたものを感じ、この仕事には力がはいりました。

この映画は日本アカデミー賞の作品賞以外の各賞を総な

めし、勝は最優秀音楽賞を受賞しました。



陽暉楼のポスター